

## 「地産地消」が「国消国産」に、「国消国産」がSDGsの達成へ。

このまま日本が国内生産を増やさず、食料を海外に依存し続けたらどうなるのか。容易に途上国から輸入をすることでその国の食料を奪う可能性はないのか。「地産地消」「国消国産」をすすめることは、持続可能な食料、農業、地域社会、環境など、SDGsの実現に貢献することになります。

### 地産地消

- 地域で生産 ● 地域で消費 ● 「食」や「農業」の理解 ● 食料自給率の向上
- 地場産への愛着心や安心感 ● 輸送距離を短縮し、CO<sub>2</sub>ネットゼロへ貢献

地域で 例えば私たちにできること 農産物直売所を利用する

### 国消国産

- 食料安全保障 ● 食料自給率の向上 ● 生産基盤の維持及び拡大
- 次世代の担い手確保 ● 多面的機能の維持及び増進 ● 環境負荷に配慮した農業
- ごはんを中心とした日本型の食生活 ● 持続可能な地域農業・地域社会づくり

日本で 例えば私たちにできること  
・国産農畜産物を選んで食べる  
・ごはん(お米)をもっと食べる

### SDGs持続可能な開発目標

#### JAグループの取り組み

飢餓をゼロに  
子ども食堂や  
フードバンクへの  
食材提供

働きがいも  
経済成長も  
農業従事者への  
各種支援

つくる責任つかう責任  
● フードロス削減  
● エシカル消費※の推進  
● 農業生産における環境負荷の軽減 など

※地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと(消費者庁HPより)



世界に 「国消国産」はSDGsの達成に貢献

## 日本の食と農を未来につなぐ——「国消国産」

「地産地消」をはじめ、国産の農畜産物を消費することで、食の安心を進めていくこと。それが「国消国産」です。生産者は今、消費者ニーズに応える農畜産物づくりに取り組んでいます。日本の食を守るためには、組合員・准組合員・地域住民が一体となって農業を応援していくことが重要です。



「みんなのよい食プロジェクト」マスコットキャラクター「美味ちゃん」

## 「みんなで考えよう国消国産!」

# 10月16日は

こく しょう こく さん

# 「国消国産の日」!!



JA東びわこイメージキャラクター「いっぴー」

皆さんは「国消国産」という言葉を知っていますか?国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産するという考え方のことです。

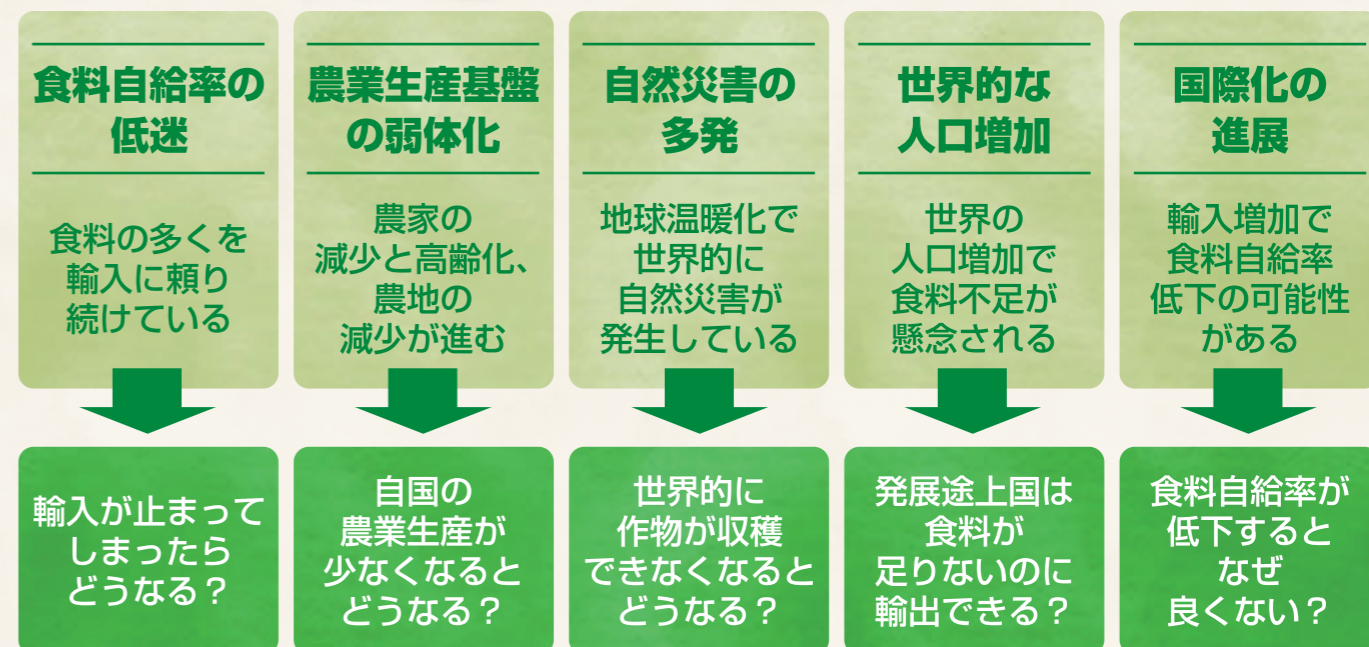
日本の食料自給率は38%\*で、食料の約6割を輸入に頼っています。ロシアによるウクライナ侵攻の影響や新型コロナウイルス感染症の流行により、国内で食料を生産する大切さの意識が高まってきている今、日本の「食」を守るために私たちができることを考えてみませんか?

\*カロリーベース2019年農林水産省による

## 日本の「食」は、今さまざまなリスクに直面しています!

### 考えてみよう

## 日本の「食」をとりまく5つのリスク



## 国消国産で「食」の安心を次の世代に

このようなリスクにさらされている中、JAグループとして「国消国産」を提案します。私たちの食卓を守ることはもちろん、子どもや孫、その次の世代に「食」の安心をつなげるために、国産を生み出す農家とそれを食べる消費者が力を合わせて「国消国産」を応援しましょう。